

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年7月21日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	158	28	4	76	75	183
令 和 6 年	137	27	0	60	70	157
前 年 同 期 比	21	1	4	16	5	26

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	22	13.9%	6	0	10	8	24
	後立山	36	22.8%	5	1	17	25	48
	その他	30	19.0%	0	0	21	15	36
計		88	55.7%	11	1	48	48	108
中央アルプス		11	7.0%	4	1	4	3	12
南アルプス		3	1.9%	0	1	2	0	3
八ヶ岳連峰		18	11.4%	3	0	11	5	19
その他の山岳		38	24.1%	10	1	11	19	41
計		158		28	4	76	75	183

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	50	31.6%	16	0	36	0	52
転 倒	32	20.3%	1	0	31	0	32
病 気	8	5.1%	3	0	0	5	8
道 迷 い	21	13.3%	0	0	0	36	36
落 石	5	3.2%	0	0	5	0	5
雪 崩	2	1.3%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	14	8.9%	0	0	0	15	15
不明・他	26	16.5%	7	4	3	18	32
計	158		28	4	76	75	183

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	3	3	29 23.4%	0	0	0	0	0	14 23.7%	3	43 23.5%
20代	1	0	2	11	14		0	0	1	4	5		19	
30代	3	1	3	5	12		0	0	3	6	9		21	
40代	4	1	9	5	19	49 39.5%	1	0	11	3	15	29 49.2%	34	78 42.6%
50代	6	0	10	14	30		0	0	11	3	14		44	
60代	5	1	10	11	27	46 37.1%	0	0	9	2	11	16 27.1%	38	62 33.9%
70以上	8	1	4	6	19		0	0	3	2	5		24	
計	27	4	38	55	124		1	0	38	20	59		183	
比 率	67.8%						32.2%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（7/14～7/21）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
7月14日	甲武信ヶ岳	男	64	負傷	転倒	3人パーティで甲武信ヶ岳から下山中、転倒、負傷
7月17日	北アルプス 奥穂高岳	男	65	無事救出	疲労	単独で奥穂高岳に向けて登山中、疲労により、行動不能
7月19日	北アルプス 燕岳	女	41	負傷	転倒	2人パーティで合戦尾根を下山中、転倒、負傷
7月19日	北アルプス 燕岳	女	61	無事救出	疲労	3人パーティで合戦尾根を下山中、疲労により、行動不能
7月19日	守屋山	女	37	無事救出	疲労	3人パーティで山頂から下山中、疲労により、行動不能
7月19日	北アルプス 槍ヶ岳	男	71	死亡	滑落	単独で槍ヶ岳に入山し、何らかの原因により、滑落
7月20日	北アルプス 野口五郎岳	男	56	無事救出	疲労	単独で七倉登山口から入山して、野口五郎岳付近で疲労により、行動不能
7月20日	北アルプス 槍ヶ岳	女	49	負傷	落石	4人パーティで槍ヶ岳に向けて北鎌尾根を登山中、落石により、負傷
7月20日	北アルプス 大黒岳	男	44	負傷	転倒	単独で五竜岳から大黒岳に向けて縦走中、転倒、負傷
7月20日	北アルプス 大天井岳	女	54	負傷	転倒	2人パーティで常念岳から大天井岳に向けて縦走中、転倒、負傷
7月20日	中央アルプス 空木岳	女	47	負傷	転倒	3人パーティで空木岳山頂から下山中、転倒、負傷
7月20日	北アルプス 白馬岳	男	28	無事救出	疲労	2人パーティで白馬岳に向けて大雪渓を登山中、疲労により、行動不能
7月20日	南アルプス 大横川	男	63	負傷	滑落	2人パーティで大横川を沢登り中、滑落、負傷
7月20日	岩菅山	男	55	無事救出	疲労	単独で溪流釣りのため岩菅山に入山し、疲労により、行動不能
7月21日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	女	54	負傷	転落	2人パーティで柏原新道登山口から入山し、山小屋で宿泊中、梯子から転落、負傷
7月21日	北アルプス 北穂高岳	男	64	無事救出	疲労	単独で槍ヶ岳から北穂高岳に向けて縦走中、疲労により、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、**16**件の山岳遭難（**1**件は死亡遭難）が発生し、うち3連休中には**14**件の山岳遭難が発生しました。

発生した**16**件のうち、転倒による遭難は**5**件、疲労による遭難は**7**件でした。

遭難の多くは、下山時に集中し、特にこの暑い時期は、登山者が気温や高度差により体力を消耗し、疲労とともに注意力も散漫となり、整備された登山道でも、浮石やガレ場などちょっとした不注意でバランスを崩し、転倒したりすることがあります。もうすぐゴールと油断しがちなタイミングこそ、最大なリスクが潜んでいるため、最後まで気を抜かずに登山をしましょう。

県内では先週梅雨明けとなり、夏本番の厳しい暑さになっています。標高の高い山域でも、気温が上がり、疲労や熱中症などによる行動不能遭難や暑さと疲労で集中力が低下して、転倒や滑落のリスクも非常に高くなります。

普段であれば、問題なく通過するところも、気温が高かったり、登山行程が長くなると集中力が低下し、転んだり、滑ったりすることもあります。

あらかじめ、

- ・ 余裕ある登山計画を立てる
- ・ こまめに休憩を取り、意識して水分・エネルギーを補給する
- ・ 下山するまで体力や集中力を切らさない

を心掛け、安全で楽しい登山をしましょう。